視点

「協働のまちづくり」で地区公民館はどう変わる

協働のまちづくりの背景

全国的に人口減少と少子高齢化が問題になっているが、当市も例外ではない。その対策として「生涯くらし続けられる地域づくり」が喫緊の課題となっている。

市では今、その対策として震災後に地区住民といっしょに取り組んできた「復興委員会」や「地区公民館」、「助け合い協議会」の取組を活かして、市と地区の「協働のまちづくり」の体制を強化していくことを考えている。

市民協働準備室を「部」に

その策として、市当局としては、これまで事務局を担ってきた「市民協働準備室」を「部」に昇格させ、教育委員会事務局生涯学習課が担ってきた「生涯学習」の取組を市長部局に移管して体制を整えることにしている。

地区公民館を地域運営組織へ

地区の強化策としては、地区公民館のあり方を検討している。

元来、公民館は、社会教育法に基づき住民のために実生活に即した教育・学術文化に関する各種事業を行う施設として設置されたものであるが、社会情勢の変化に伴い「地域づくり」や「コミュニティ活動の拠点」としての役割も担うようになってきた。「環境問題」や「交通安全に関する取組」、「地区要望の取りまとめ」等、行政からの依頼事項も増えている。

そこで市では、住民が主体となって地域課題の解決に向けた取組を行う組織として、多様な担い手を取り込んだ「地域運営組織」の形成を考えている。

住民との合意形成の必要

これは、地区公民館の形を大きく変えることになる。よって地区公民館役員や住民との合意を得る必要がある。

昨年、当局は各地区に入って「地域づくりについての懇談会」を持ってきているが、この話し合いの内容を見るに「地区によって違いはあるが、共通理解を得た」と言うにはほど遠いように思う。共通理解を得るためには、新しい「地域運営組織の形」や「活動内容」、「配置スタッフ」など、具体的な内容を提示しながら各地区の疑問点に答えていく必要がある。

焦らずに丁寧な話し合いを重ねて、地区民との合意形成を図っていけるようにして欲しいものである。

議会：主な活動日誌

10月23日	会派代表者会
24日	教育福祉常任委員会行政視察（～26日）
29日	総務常任委員会管内視察、月例会議
30日	議会運営委員会行政視察（～31日）
11月1日	正副議長・常任委員長懇談会
5日	議会運営委員会
6日	派遣職員対象議会研修会
9日	産業建設常任委員会と大船渡商工会議所との意見交換、岩手沿岸南部広域環境組合議会定例会
12日	気仙広域連合議会定例会、大船渡地区環境衛生組合議会定例会、大船渡地区消防組合議会定例会
13日	議会運営委員会、市政調査会管内視察
16日	全員協議会、総務常任委員会管内視察、会派代表者会
19日	岩手県市議会議長会議員研修会
20日	議会だより編集委員会行政視察（～21日）、岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会
26日	気仙地区議会議員協議会の岩手県に対する要望活動
27日	議会運営委員会、総務常任委員会管内視察
28日	復興特別委員会、月例会議、市政調査会役員会
29日	岩手・宮城県際市町議会議長会の関係省庁等に対する要望活動
12月1日	首都圏さんりく大船渡人会の集い
4日	議会運営委員会、教育福祉常任委員会、復興特別委員会教育福祉部会
5日	総務常任委員会管内視察、産業建設常任委員会と市内企業との意見交換
11日	議会運営委員会
14日	第4回定例会（初日）、総務常任委員会、産業建設常任委員会、復興特別委員会産業建設部会、復興特別委員会幹事会、会派代表者会
18日	平成31年度予算に係る市議会会派要望
19日	第4回定例会（一般質問）、総務常任委員会、復興特別委員会総務部会、教育福祉常任委員会
20日	第4回定例会（一般質問）、議会運営委員会
21日	第4回定例会（一般質問）
25日	第4回定例会（最終日）、全員協議会、月例会議
26日	岩手県沿岸都市議会連絡会議の岩手県に対する要望活動、平成31年度予算に係る市議会地区要望
27日	議会運営委員会
28日	気仙広域連合議会臨時会、大船渡地区環境衛生組合議会臨時会、大船渡地区消防組合議会臨時会
1月8日	教育福祉常任委員会、復興特別委員会教育福祉部会
10日	総務常任委員会管内視察、復興特別委員会総務部会、産業建設常任委員会、復興特別委員会産業建設部会
15日	大船渡市議会委員長連絡会議
16日	国際リニアコライダー誘致推進議員連盟役員会
17日	会派代表者会
18日	全員協議会、総務常任委員会、復興特別委員会総務部会
21日	自由民主・無所属の会会派視察（～23日）
28日	全員協議会、月例会議、平成30年度大船渡市議会議会報告会
29日	会派代表者会、気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟役員会
2月1日	市政調査会管外視察
4日	市議会防災訓練

編集後記

議会だより新年号の表紙の写真はいかがだったでしょうか。担当議員は季節や時の話題など、テーマを絞り、天候や時間を考慮しベストショットを狙うわけですが、これがなかなか難しいものです。

何事にも物語あり。1枚の写真に関わる万象にも思い巡らせて頂ければ幸いです。

寒さも、まだまだ続きます。春の息吹を心待ちに元気な毎日をお過ごし下さい。

本年もお互いを思いやり、穏やかな1年になりますように。

市議会だより編集委員会

委員長　奥山　行正
副委員長　東　堅市
委員　船野　章
〃　渕上　清
〃　田中　英二
〃　森　亨

「大船渡市議会だより」は、国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙と植物油インキを使用しています。